

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成30年5月18日（金）
午前10時～午前11時18分
- 3 場所 第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 小川信彦
総務部長 山田日出雄、市民部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、教育こども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 伊藤新治、同企画政策グループ統括主査 小出健二、行政課長 佐野剛、市民窓口課長 近藤玲子、税務課長 古田佳代子、健康課長 長瀬信子、長寿介護課長寿福祉グループ統括主査 高橋善美、消防本部総務課長兼消防署長 伊藤真澄
- 6 事務局出席者 議会事務局長 隅田昌輝、同統括主査 寺澤頭
- 7 議長あいさつ
- 8 市長あいさつ
- 9 報告事項

(1) 執行機関からの報告

① 6月定例会に提出予定の議案について

各部長、市民窓口課長、税務課長、消防本部総務課長、秘書企画課企画政策グループ長：資料に基づき説明

【確認】

堀議員：7ページ7「行政手続き～一部改正について」について。従来から行われている事務であるが、住基システムの更新に合わせてということで、今後はいろいろなシステムの更新に伴ってマイナンバーがキーで使われていく。これまでは住民基本台帳のシステムの個人番号がキーで使われていたが、順次マイナンバーに切り替えていくという考え方か。

総務部長：システムの更新に伴い、システム間の連携を行うことになる。

堀議員：これまではシステム間の連携は行っていないということで、今後は各事務の中で住基システムを利用していき、つまり変わるということか。

総務部長：個人番号の利用をシステムの間で連携していく。これまではシステムを利用しなくても、件数も少なかったのでできていたが、これからはシステムを使って個人番号を使って連携していく。

秘書企画課企画政策グループ統括主査：これまでは現行のシステムを使っている最中にマイナンバー法が施行されて、それに対応する改修で対応してきた。今回は、別表では独自利用する事務を規定するとともに別表2で庁内の連携。これまで既存のシステムは、もともとあるシステムで連携する

キーがあったので、そこを中心に連携してきた。今後はマイナンバーをキーにして連携するシステムに対応できるように改正している。

堀議員：今までも電算処理はしていたが、キーをマイナンバーに切り替えるのか。

秘書企画課企画政策グループ統括主査：一部の事務はそのとおり。全ての事務ではない。

②平成30年度市長マニフェスト等推進プロジェクトについて

秘書企画課長：資料に基づき説明

【質疑】

大野議員：施策1-2待機児童の解消について、プロジェクトよりも子育て支援課で現在進めていることなので、何も書いてないというのは、担当課が進めているのか。もう1点、施策5-1近隣自治体との連携について、2市3町の連携で会を設けているが、書いてないが、定期的に進めているか。プロジェクトよりも担当課で進めているのではないか。書いてないのはおかしくないか。

総務部長：今回はプロジェクトチームとして行うものを挙げた。担当課で行うべきものについては粛々と進めている。プロジェクトチームとして5つの柱で進めていきたい。

③岩倉市健幸都市宣言（案）パブリックコメントについて

健康課長：資料に基づき説明。

【質疑】

特になし

④岩倉市高齢者地域見守り協力に関する協定について

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：資料に基づき説明。

【質疑】

木村議員：今回の報告とは異なるが、協定が締結されている事業所が22カ所で、5月に岩倉団地で孤独死が発生した。市がどのように関わっていたのかわからないが、新聞が溜まっていたという情報があり、岩倉団地自治会やURと連携してやったということは報告を受けている。市には報告が無かったのか。判断は市がすべきだと思うがどうか。

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：岩倉市で一人暮らしの高齢者で福祉票がある場合は自治会・消防から照会があると市が情報を提供して親族に

連絡する事もあるが、登録が無い場合は警察が動き、連絡が入りいろいろなところへ協力いただく。分からない場合は戸籍をたどって関連市町村へ親族調査の依頼をし、その報告をもって親族と接触し、身元がわかるという連携。状況毎に関係機関が動いて解決に結び付けている状況。新聞が溜まっていて状況がわからないと市が立ち会う場合もあるし、警察・消防・自治会・URが立ち会ってガラスを割って入る場合もある。

木村議員：本年5月のケースについては新聞販売店から市に連絡が入っていないということか。

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：今回の件では市に連絡が入らず、消防から連絡が入った。新聞店に対する協力依頼と周知は行っている。

梅村議員：協定したところからの通報実績はあるか。

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：平成29年は、新聞店から5件、郵便局から2件あった。協定を結んでいない店から見守りの情報が入ることもある。協定に限らず、店・コンビニ・医療機関から情報が入る。

榊谷議員：市民から、新聞が何日たまったら言ってくれるのか、新聞配達員すべてに協定の情報が入っているのかと聞かれた。3～4日の新聞がたまっていたのに連絡が入らない事例があった。目安として何日分の新聞が溜まったら通報するとか決まりはあるか。

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：前日の新聞が取り込まれていない場合、翌日配達したときに連絡してもらおう。一人暮らしでない場合は連絡がないこともある。協定の締結者と周知に努めたい。

宮川議員：締結側からの申出で協定を締結するのか。人が多く集まる場所や人と多く接する職種の店舗などに市から協力要請するのか。

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：銀行・新聞店・郵便局は市からお願いをしている。生活協同組合は先方から申出があった場合に締結している。

堀議員：前日の新聞放置から連絡をするのであれば、すごい件数だと思うが、一人暮らしの情報は、個人情報なので市から協定先には言っていないと思う。前日の新聞放置で本当に連絡があるのか。

長寿介護課長寿福祉グループ統括主査：新聞店は契約時に家族構成などがわかっているので、高齢者世帯や一人暮らしには特に注意するよう伝えている。

健康福祉部長：今回は2日間新聞がたまっていたが、長寿介護課には新聞店から連絡がなく、後になってしまった。担当課から改めて新聞店に、新聞がたまっている場合には速やかに長寿介護課に連絡をもらえるようお願いをした。今まで22カ所の事業所と協定を結んでいるが、直接市民と対応

する従業員にも見守りについての認識や協定を結んで協力体制をとっていることについて隅々まで周知することが必要であると思う。未定ではあるが、今年度協定先と連絡会議等を開いて、見守りの体制や情報についてスムーズにやっていけるように進めていきたい。

⑤その他

(交通死亡事故について)

危機管理課長：資料なし、口頭説明。

5月15日(火)午後9時40分頃に市道豊田岩倉線カネスエの横を南北に通っている東町東信号交差点の少し北側で事故が発生。北進の自転車が東から西へ横断し、後方からきた北進の車と接触した。市では江南警察と合同で緊急の交通安全の啓発活動を行った。昨日カネスエ八剣店で買物客にチラシを配布した。本日ピアゴ八剣店で同様の啓発を行う。広報7月号とホームページで交通安全の啓発記事を掲載する。

【質疑】特になし

(総合体育文化センターについて)

教育こども未来部長：総合体育文化センターの天井改修工事が5月から始まった。工事の現場事務所が南側駐車場に仮設されている。北側を通り道。工期は9月中旬まで。敬老会に間に合わせたい。

【質疑】

鈴木議員：資材の搬入車両と一般人の動線は分けてあるか。

教育こども未来部長：資材は搬入されているが、工事は西または北側、一般利用者は東側。

(2) その他

特になし

10 協議事項

大野議員：昨年10月に開催した議会主催講演会を今年度も開催してはどうか。例えばシティプロモーションなど。

梅村議員：いいと思う。予算10万円ついている。議会基本条例推進協議会で決めていくのが通例だと思う。

黒川議長：今後、議会基本条例推進協議会において議会主催講演会のありか

たについて協議をお願いします。

1 1 その他

特になし